

人権教室

みんな仲の良い友達

8月23日、湯尾保育所で人権教室が行われました。これは、子供たちに思いやりの大切さや命の尊さなどを伝えようと、南越前地区人権擁護委員が開いたものです。

人権を分かり易く伝えようと、委員らは紙芝居を使って説明。「イジメはいけない」ということを伝えると、児童らは真剣な表情でうなずいていました。紙芝居の後には、人権イメージキャラクターの「KENまもる君」と人KENあゆみちゃん”のぬり絵に挑戦。教室の最後に「これからも仲良く遊びます！」と元気な声で約束しました。



津波避難訓練

日頃からの意識が大切

8月25日、河野地区で津波避難訓練が行われ、沿岸集落の住民らが参加しました。これは、住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に、福井県総合防災訓練に合わせて実施されました。

福井県沖に震度6強の地震が発生し、沿岸部に津波警報が発令された想定。避難指示が出されると、住民らは急ぎながらも落ち着いていた表情で決められた高台等に避難しました。避難終了後、各集落集会所等に集まり応急搬送訓練と防災講習を受講。住民の自助・共助による初動対応を学びました。



学習田で稲刈り

小さかったのにこんなに大きく

9月4日、南条小、今庄小、河野小の5年生88名が、古木の学習田で稲刈りを行いました。5月上旬に児童らが植えた苗を、今日まで(有)リトリート田倉が丁寧に管理してきました。今年は天候にも恵まれ稲が順調に生育した。今年の穂が実りました。(有)リトリート田倉の指導員から刈り取りの注意とコツを聞いた児童は、さっそく田んぼに入り作業開始。稲刈り作業は初めての児童が多く、鎌の使い方には注意しながら収穫を楽しんでいました。収穫された稲は脱穀、乾燥されお米となって、各小学校の給食で食べられるということです。



山海里消防フェスティバル

消防署を身近に

9月8日、南消防署で山海里消防フェスティバルが開かれ大勢の家族連れらで賑わいました。これは、普段あまり接する機会がない消防署や消防設備などを広く開放し、地域の皆さんに楽しみながら防火や防災の意識を高めてもらうこと毎年開かれています。

会場には、放水体験や水消火器体験、壁をロープで登る体験などさまざまな体験コーナーが設けられ、防災の大切さや消防士の仕事ぶりを学びました。また、救急・救助・防災ヘリコプター合同訓練も行われ、迫力ある実演に感激していました。

